平成 29 年 3 月発行　討議資料

神戸市会議員（西区）
自由民主党神戸市会議員団
市政報告

山下てんせい vol.9

2016 年度は「総務財政委員会　委員長」を拝命し、円滑な委員会運営を心掛けました。
私としましては二年連続の常任委員長を務めさせていただきましたが、その運営の難しさと達成感の両方を得ることができ、良い経験をすることができております。
さてこの度も、一年間の活動を振り返りつつ、目下取り組んでいる政策についてご紹介、また報告をさせていただきます。ご一読くださいませ。

2017 年 3 月吉日　　自由民主党神戸市会議員団　山下　てんせい

数字で見る、西区の「いま」と「みらい」

	◆人口	◆0 ～ 14 歳の人口	◆高齢化率
いま	24.5 万人	3.3 万人	23.3%
みらい（2040 年）	23.1 万人（1.4 万人減）	2.3 万人（1 万人減）	37.6%（14.3%増）

（2015 年国勢調査より）

（国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」を基に計算）

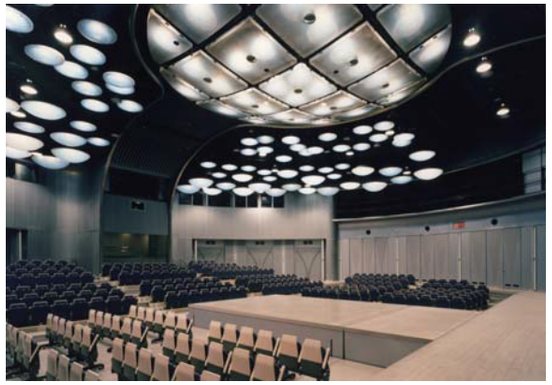
良好な住環境がうたい文句の神戸市西区ですが、やはり人口減少社会の流れには抗えない局面になっております。注目してほしいのは、全体の人口減のうち 7 割強が子どもとなっている点です。
人口減によって、市の税収が減少し、現在提供されている行政サービスが維持できるのか…という心配の声も多数届いております。
しかしそれでも私は、西区ほど子育てしやすい環境はないと信じています。
また今の行政や我々の政策には、皆様の望むサービスが変わってきていることに、柔軟に合わせていくことが求められていると思います。
　そこで今回は、平成 28 年度に取り組んだ施策から「今の西区らしい」トピックスを幾つか紹介します。

「西区役所新庁舎に設置して欲しい施設」

2016 年 2 月
市会一般質問
～継続中

まちづくり！● 住民は潤いを求めています

西区新庁舎の移転に伴い、その設計が議論され始めました。
自由民主党神戸市会議員団において西区選出議員の議論でも「音響のいいホールは必要」という意見が一致しており2017年の議会においても提言・質問を続けております。
　2016年2月の時点で、玉田副市長は「（なでしこ）ホールの音響面の向上という御意見もいただいておりましたことから、26年度にスピーカーなり音響調整卓等の音響関係の設備更新を行いました。あと、その残響面というようなことでの音響の改善ですけれども、これはここが簡易反響板という形でございますのでその後にできました施設とは少し施設のつくりが違います。このあたり今後どのような改修、改良ができるのかということについては引き続き研究をさせていただきたいというふうに考えております」と部分改修する答弁をされておりました。
　また2017年2月市会においても市長も同様の答弁をされたことから現状で新ホール設置は難しい状況ですが次世代の西区にプレゼントする施設としてしっかり考えてほしいという思いから予算要望に記載していただきました。
　今後も皆様の声を基に引き続き頑張っていく所存です。



▲〈参考〉オルビスホール（六甲アイランド）

「スーパー撤退…　買い物弱者を救え！」

2016 年 2 月
市会一般質問

まちづくり！● 他所事ではありません

2017年1月下旬、押部谷のとあるスーパーが閉店しました。
　その主な理由は施設の老朽化ということでしたが、本当のところは赤字体質の店舗を閉めたいという経営上の問題であったようです。
　山下てんせいはこの件について相談を受け、移動販売車を持つJA兵庫六甲に協力を求め、2月から木曜日の正午に営業をしていただいております。その際行政のスピーディーな許認可決定や手続きがあったようで、素早い対応に感謝した次第です。
　3月2日にその様子を視察してまいりましたが、時間が決まっていることと天候に恵まれたこともあり、多くのお客様で賑わっておりました。またちょうどその日は区長はじめ西区役所のまちづくり課、そして西建設事務所の山地所長や職員の方々も視察されており、地域の声を受け止めておられました。
　買い物弱者対策となると、どうしても乗り合いバスやデマンド交通といった案が採用されがちですが、原点は「店舗」にあると考えます。そういった意味で移動販売車は一つの解決策であると思います。しかしそれでも採算がとれない、という事実をどうクリアしていくか？今後の課題としてしっかり考えていきたいと思います。

▲100 人ほどの皆様に利用いただいています

「クリエイターが活躍できるまち、神戸を目指して」

2017年2月
市会代表質問

産業振興！ 施設は一級品、でも…

平成24年に誕生したKIITO（デザインクリエイティブセンター神戸）近い将来、日本や世界のまちづくりのお手本になるために、神戸三宮の地で、かつてない試みが動き出します。

このようなキャッチコピーのわりに、存在感や役割を十分に果たせているか？という疑問を持つ意見を多くいただいています。

山下てんせいは、2月の代表質問において市長にこのことを問うたところ久元市長は「神戸は、福岡、横浜、川崎に比べ、都市型産業の集積が薄く、生活文化産業の集積が充分でない」と、はっきりした答弁をされました。以下、クリエイターと呼ばれている人達が神戸で活躍していただく前提について明確に示されたうえで、支援の検討と施設のマネジメントについて見直すことを明言されました。

弱点であるからこそ、そこは強くなると思います。若者のみなさんが未来に希望を持てるよう、産業育成に期待したいと思います。

写真は廃工場をそのままイベントスペースとして利用しているお店です。空家や空き工場の有効利用や情報提供も積極的に提言していこうと思います。

「サブセンターのリニューアル、必要な施設とは？」

2017年2月
議会局別審査

まちづくり！ かりはプラザのリニューアルが、次期予算内に計画されました。

近年の急激な少子高齢化の進展や、地域活動の停滞といった問題が顕在化しており、住民の利便性確保や地域住民のコミュニティ向上のためには抜本的な見直しが必要となっているという背景があります。計画の中身については、地域検討会をすでに立ち上げており、29年上半期を目標に事業者を公募、リニューアル計画を確定していくというスケジュールです。

そこで当市会においては「住民の意見をしっかり聞くこと」を第一に求め、局としてもその意に添うように取り組むという回答をいただいております。

どのようなセンターが望ましいのでしょうか？お年寄りにやさしいセンターとなるために必要な施設、生活の利便性を向上するお店、そして憩える飲食店などが考えられます。

そこで、コンビニエンスストアについても考えていただきたいのです。かつては「たまり場」になる等の理由から敬遠されがちでしたが、昨今コンビニがあったほうがいいという声も高まってきております。また防犯・救命の拠点として機能することが期待でき、イートインを備えた店舗ではコミュニケーションの拠点として新たな憩いの場となるでしょう。

山下てんせいはできる限り皆様の意見を集約し、よりよい提言を行いたいと考えております。なにとぞ忌憚のないご意見をいただけますようよろしくお願いします。

▲かりはプラザ

「社会人選抜の年齢制限緩和」

2016年2月
市会一般質問

雇用対策！ 足元から始めよう「再チャレンジ社会」！

神戸市の職員構成を見ると、平成7年の阪神・淡路大震災の影響で新卒募集を絞り込んだ影響で、32歳から38歳の層が極端に少なくなっていました。この世代はいわゆる「氷河期世代」であり、大卒就職率が軒並み過去ワーストという時期でした。

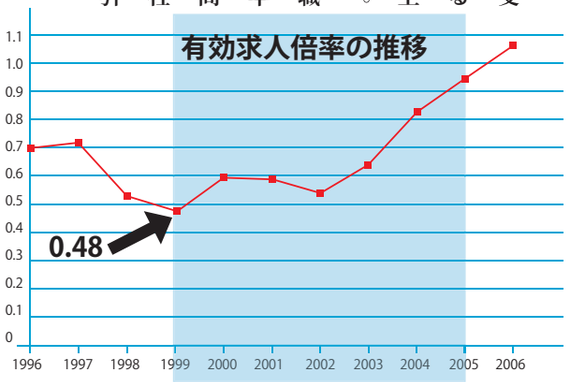
いわゆる「派遣切り」の最大の被害を受けた世代でもあります。

神戸市は、そういった非正規雇用の受け皿を認め、雇用期間の条件を撤廃する等の改善をしてきました。しかし年齢上限（34歳）の条件だけは残っていたのです。

山下てんせいは、このことが神戸市職員構成の実態に合わない点を指摘し、年齢制限の撤廃を主張しました。一般質問にて市長に質したところ、翌年からの社会人選抜において年齢制限を39歳まで引き上げることになりました。

その結果、平成28年度申込者数は1144人（前年比307人増）となり34～39歳の受験者が多数挑戦されたという報告を受けております。

年齢や経験が、挑戦する心をくじく物であってはなりません。まずは役所からこれからも「再チャレンジしやすい神戸」を実現するために提言していきます。



（参考）1991年の有効求人倍率は2.86倍、2015年は1.61倍

〈その他取り組んでいるテーマ〉 教育、人材交流を軸とした国際交流

現在、日印友好神戸市会議員連盟の事務局長として積極的に活動しております。2016年11月には、兵庫県とインド・グジャラート州が防災や経済分野などで相互協力する覚書を締結しました。これは、安倍首相およびモディ・インド国首相が立ち会う中で署名されるという画期的なものでした。神戸市もこれに続くために、インドコミュニティとの交流や意見交換を随時行っております。とくにインドの大学と神戸市の大学で提携し、ITなどのすぐれた教育と日本のものづくりの懸け橋になれば、神戸はもっと発展すると思います。国際競争力の強化、これも議員の大事な仕事です。

▲チャングサン総領事と懇談

市会西区 山下てんせいの活動は facebook またはホームページにてご覧ください。

市政に対するご意見は、t.yamashita128@gmail.com まで

山下てんせい 検索

会派 HP http://www.jimin-kobe.com/

発行元：自由民主党神戸市会議員団　〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 市役所1号館　TEL：078-322-5846　FAX：078-322-6164